

ドキドキして眠れない!

GI 第72回 日本選手権競輪

JAPAN KEIRIN CHAMPIONSHIP

開門時間 5.1火~6日 9:30(6日間)

平塚競輪場 35#

主催: 日本競輪協会

協賛: KEIRIN.JP

後援: 平塚競輪場

協賛: Dokanto

競輪は遊樂に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

ダービー王の称号を賭けて激突

今年のGI第2弾、「第72回日本選手権競輪」が平塚競輪場で開催される。輪界でもっとも権威のあるタイトルを賭けて、精鋭162名が6日間のシリーズで覇を争う。猛者たちによる白熱のスピードバトルに注目だ。なお、3日目の第12レースでは、ガールズケイリンコレクションも開催される。

GI三連覇も十分狙える。渡邊一成は昨年、新田の番手から2度のタイトルを奪取。今年新田を交わせる数少ない存在だ。今年初出走のウイナーズは2次予選で敗退も、3日目に好ラップのまくりを披露。競技で鍛えたスピードは健在だ。新田と同様に出場機会が激減した影響をどう解消するかが鍵。北日本は他にも成田和也や佐藤慎太郎、山崎芳仁ら役者が控える。

ダービー王の称号に一番近いのは新田祐大だろう。昨年は宮杯を制してから、次々にビッグで好走。競輪祭もVとまさに新田劇場の一年だった。そして、今年も初出走の全日本をいきなりV。決勝は単騎まくりで別線一蹴と、圧巻の脚力で周囲の度肝を抜いた。ウイナーズは準決で敗退したが、最終日に同じナショナルの脇本雄太をまくるなど随所で強さを見せつけた。不安材料のレース動さスクリアすれば、



新田祐大

ベルで安定。3月名古屋記念で落車こそしたが、ウイナーズは影響を感じさせない走り。最強のオールラウンダーとして、変わらぬ存在感を放っている。諸橋愛は苦しい競走が続く。それでも全日本の優秀で平原を差し切るなど、随所で持ち前のキメ脚を見せている。



平原康多



三谷竜生

だが、初日特選で見たパワーはさすがの一言だった。吉田敏洋、竹内雄作、坂口晃輔らも中部勢を盛り立てる。近畿勢も怖い。三谷竜生は、ここまで記念を3V。ウイナーズも、連日強豪を破って無傷の優出と



浅井康太

浅井は座骨骨折の影響で全日本を途中欠場など2月まで一息。しかし、近況はウイナーズ。4月川崎記念を優出と怪我が完治して持ち前の俊敏な走りが戻ってきた。深谷はナショナルに復帰して豪脚が復活。今年初出走のウイナーズは3⑨④②着に終わった。中部勢は原田研太郎、取島雄吾、太田竜馬ら活きの良い若手が参戦。S班の桑原大志、香川雄介、小倉竜二らが好リードし、復権を目指す。九州も山田英明をはじめ、個性派の面々がそろうだけに軽視禁物だ。

主力メンバー ※2018年4月23日現在

主力選手プロフィール										直近12場所成績																									
氏名	登録地	期別	競走得点	氏名	登録地	期別	競走得点	氏名	登録地	期別	競走得点	氏名	登録地	期別	競走得点	氏名	登録地	期別	競走得点																
山田英明	徳島	173cm74	35	原田研太郎	徳島	164cm77	30	三谷竜生	奈良	168cm77	33	村上義弘	京都	170cm75	29	脇本雄太	福岡	181cm85	33	浅井康太	三重	179cm75	33	深谷知広	愛知	169cm86	28	平原康多	埼玉	185cm91	35	新田祐大	福岡	172cm77	32
山田英明	徳島	173cm74	35	原田研太郎	徳島	164cm77	30	三谷竜生	奈良	168cm77	33	村上義弘	京都	170cm75	29	脇本雄太	福岡	181cm85	33	浅井康太	三重	179cm75	33	深谷知広	愛知	169cm86	28	平原康多	埼玉	185cm91	35	新田祐大	福岡	172cm77	32

※2018年4月23日現在のデータです。